

地歴公民(世界史) 大阪大学(前期 文学部)

<全体分析>

試験時間 90 分

解答形式

論述・記述設問・記号正誤

分量・難易(前年比較)

分量(減少・やや減少・変化なし・やや増加・**増加**)

難易(易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

大問数は昨年と同じ3題であったが、論述の総字数は昨年の700字から945字に増加した。

難易度は昨年と比べて変化がなかった。

出題の特徴や昨年との変更点

昨年はなかった図版を使用した問題が出題された。

昨年に続いて文献資料を使用した問題は出題されたが、統計資料を使用した問題は出題されなかった。

最近3年続いて出題されている短文の正誤を判定させる問題が本年も出題された。

昨年の問題に見られた会話文は、本年は見られなかった。

昨年は出題される時代が偏っていたが、本年は古代から近代まで出題された。

昨年に続いて、20世紀からの出題は見られなかった。

その他トピックス

最近3年間に続いて、大問3題のうち1題が文学部と別の問題で、他の2題が共通問題であった。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
(I)	論述	自然環境の変化と技術変革	問1 約1万年前の気候の温暖化が人類に与えた影響について説明する問題。農耕・牧畜の開始と人類社会に与えた影響について述べればよい。 150字程度。 問2 鉄器の普及が春秋・戦国時代の中国の社会・環境の変化に与えた影響について説明する問題。環境の変化についてどの程度触れられるかがポイント。 150字程度	標準
(II)	論述	9～16世紀における人間の移動	問1 9～12世紀のノルマン人の活動が世界の諸地域に与えた影響について説明する問題。地域ごとに書くべき事項が多いので簡潔にまとめる必要がある。 150字程度。 問2 12世紀ルネサンスについて説明する問題。イスラーム世界との交流を背景に、アラビア語文献のラテン語への翻訳を通じた学術などの発展について述べればよい。 150字程度。 問3 レコンキスタの完成とともにイベリア半島を追放されたユダヤ教徒の、イスタンブルでの活動について説明する問題。イスタンブルを都としたオスマン帝国の異教徒に対する政策を想起したい。 70字程度。	標準

(Ⅲ)	論述 記述設問 記号正誤	ヨーロッパの植民地における先住民支配 (資料使用)	<p>問1 資料1の植民地経営制度の名を問う問題。資料は16世紀のラテンアメリカのスペイン植民地に関するものなので、エンコミエンダ制とわかる。</p> <p>問2 問1の制度とその実態を説明する問題。資料からは植民者が先住民を虐待し、宣教師が先住民の保護を訴えていたことが読み取れる。 75字程度。</p> <p>問3 19世紀のタスマニア植民地の総督が絵画で発した布告である資料2を使用し、総督が伝えようとした内容の正誤を判定させる問題。絵画が何を表しているかを読み取らなければならない。</p> <p>問4 資料1・資料2に見られる、ヨーロッパの植民地における先住民支配の特徴について説明する問題。先住民の保護や先住民との共存を訴えながらも、支配・被支配の関係は維持されることを、資料に即して述べればよい。 200字程度。</p>	やや難
-----	--------------------	------------------------------	---	-----

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

近年の傾向として資料・図版や表・グラフなどが使用されており、戸惑うかもしれないが、問われているのは教科書をしっかり学習していれば十分対応できる内容である。ただ、そのためには資料が何を述べているのかを読み取る国語力、図版や表などから得られる情報と歴史的知識を総合して考える力が必要である。出題地域はアジア・欧米と幅広く、時代的にも古代から現代に及ぶので、教科書中心の丁寧な学習を心がけたい。手薄になりがちな地域や時代からもしばしば出題されるので、おろそかにしないこと。論述問題が大部分を占めるので、過去問を参考にして十分に練習しておこう。